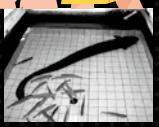
# 指宿まるごと博物館マップ。

指宿まるごと博物館
実行委員会



# 指宿まるごと博物館マップ。

## 指宿まるごと博物館とは

「北条泰時書状」
（指宿文書20点）

平安時代末期から室町時代初期、指宿氏が指宿地域を領有していた頃の、戦や裁判などの記録。

「指宿まるごと博物館」とは，指宿市全体を博物館ととらえ，市域にある文化財，自然，産業，施設，郷土芸能，伝統技術，伝統行事，イベントなどのすべてを貴重な「展示品」と位置づけて，それらをまちづくりに活かしていく考え方や実践のことです。

指宿市考古博物館時遊館COCCOはしむれでは，「指宿まるごと博物館」の実現に向けて，「展示品」に関する情報の収集・整理・公開に努めています。

この地図は，指宿まるごと博物館の情報を掲載したものです。詳しい説明をインターネットホームページで紹介しています。各エリアのQRコードからアクセスしてください。COCCOはしむれのホームページからもご覧いただけます。

→ https://www.city.ibusuki.lg.jp/cocco/

※マップの中では，文化財の種類を下記のように色分けして表記しています。

赤:国指定文化財　紫:県指定文化財　青:市指定文化財　緑:一般文化財

文化遺産を活かした地域活性化事業
文化庁


マップに関する問い合わせ先
**時遊館COCCOはしむれ**
住所　指宿市十二町2290　電話　0993−23−5100


2021.9

## 国際貿易港に吹く風

山川港は中世から貿易港として栄えた。なんとポルトガル人商人も滞在していたのだ。それだけではない。江戸時代には，平戸・出島以外の貿易港「琉球口」として，藩の財政と日本の経済を支えた。成田国際空港みたいなところだったのだ。

利永琉球傘踊
山川港と枚聞神社の途中にある利永に伝わる，琉球使節団の旅の模様を描いた舞踊である。

旧正龍寺跡墓石群
正龍寺は，江戸時代の貿易港であった山川港において外交文書の授受を行っていた。墓石群は正龍寺に関係するもの。

山川薬園及びリュウガン
万治2年に開設された藩最古の薬草園。現在もリュウガンが甘い実をつけている。

地頭仮屋跡石塀
山川の行政・警察などを司った地頭仮屋の石塀。

正龍寺宝珠付角柱石塔婆
口源上人の念仏講を記録。

河野覚兵衛家墓石群
南方貿易に貢献した山川の豪商の墓。

前田利右衛門墓石
初めてサツマイモを日本に持ち帰った人物の墓。

詳しくはコチラ

## 古代の息吹と太平次

丹波地区には，すごいものが集まっている。例えば，日本で最初に縄文土器が弥生土器より古いことを証明した遺跡や，日本最大クラスの船団を擁し，薩摩藩が西欧列強に備えるための軍備の後ろ盾となった豪商などだ。

指宿橋牟礼川遺跡
濱田耕作が行った大正7・8年の調査で，縄文土器と弥生土器の新旧関係を層位学的に証明。また，直線16年の集落がそのままの形で残っている。すべての鍵は，開聞岳の噴火にある。

木造千手観音坐像
廃仏毀釈を生き残った仏。

第八代濱崎太平次正房墓
文化11年に生まれた太平次はその商才を時の家老調所笑左衛門に見出され，薩摩藩の財政再建に奔走した。

板碑（湯豊宿）
「いぶすき」という地名の由来を今に伝える板碑。

時遊館COCCOはしむれ
触って体験して古代の世界へタイムスリップできる博物館。

方柱四方梵字
四面に凡字で仏の名が刻まれた板碑の一種である。

五人番のアコウ
幕末の動乱を見守ったアコウ，ここに移設された。

詳しくはコチラ

## 篤姫の渚

篤姫が生まれた今和泉島津家は，島津宗家を守るために創設された家である。本領地だった今和泉を歩くと気付くのは，街角に残る江戸時代の雰囲気だ。激動の時代に一歩も引かずに立ち向かった篤姫の心の一端をここに見ることができる。

今和泉島津家墓所
今和泉家は，戦国時代に絶えた今和泉家を再興する形で，延享元年に薩主島津継豊の弟忠郷を当主として創設された一門家である。墓所には篤姫の父をはじめ，歴代当主らが眠っている。

豊玉姫神社棟札
今和泉郷郷社だった豊玉姫神社には，中世から江戸までの棟札が残されている。

今和泉島津家伝来の手水鉢
今和泉島津家屋敷跡に残された手水鉢，高さ93cmの堂々とした造りである。

豊玉姫神社の仁王
元禄2年に建立された仁王。

今和泉島津家屋敷跡の石垣
今和泉家は，現在の今和泉小学校などに屋敷を構えた。当時の石垣がそのまま残っている。

隼人松原
今和泉海岸に面した今和泉島津家屋敷は，鹿児島湾の青さと白い砂浜，緑の松林がすばらしい。

田の神
建立年不詳。写実的な姿である。

詳しくはコチラ

## 西郷が愛した温泉

鹿児島の顔といえば，西郷さんだ。温泉好きだった西郷さんは鰻温泉を特に愛した。忙しい身で何度も来ているから，きっとそうだ。あちこちに見られるスメと呼ばれる噴気を西郷さんも眺めたのだろう。

鰻　池
池田湖と同時期に誕生した湖。噴火によって火山自体が吹き飛ばされ，水がたまってできた。

鰻地蔵板碑
天徳4年に建立された指宿市最古の板碑。

成川板碑
鎌田氏居城跡に残る。天正4年建立。

成川十一面観音座像及び石殿
成川第主鎌田政成が，永禄9年に建立。

小川六地蔵幢
六道輪廻思想を示すために，室町時代に盛んに建立された塔。天文22年の銘がある。

田の神石像
成川開田に伴い，明和8年に建立。

成川南方神社神舞
慶安2年に島津藩主の御前で舞われた神舞。３年毎に集落で奉納舞が公開されている。

浜児ヶ水のサンコンメ
若者の通過儀礼を偲ばせる行事。毎年1月7日に行われる。

桜井神社木像銘文
クスの木で作られた男女各一対の木像。木像の裏には，大山や小川の人々の名前が記されている。天正6年の作。

詳しくはコチラ

## 指宿発祥の地

指宿地区はドラマティックなところだ。中世においては，武士達が覇を争う舞台となった。江戸時代には，海を越えて才を競う商人がひしめく町だった。島津の殿様がポケットマネーで造った防波堤があるし，なんと日本集落の発祥まである。本当にドラマティックだ。

宮ヶ浜のアコウ
報国神社境内のアコウは，日本最大の大きさを誇る大木である。

湊川橋
谷山掘引きなおしに伴い，調所笑左衛門広郷が造らせたとされる石橋。

宮ヶ浜港防波堤（捍海隄）
島津斉興が内庫金を出し，造営させた堤防。国登録有形文化財。

木造観音立像三体
薩摩半島南部最古の仏像を含む三体が現在も集落で大切にされている。

宮ヶ浜の港商家群
明治から大正にかけての姿を残す商家群。屋根の造りが特徴的。

水迫遺跡
後期旧石器時代の住居群が発見された。日本集落の発祥といわれる。

松尾城跡
松尾城は海と陸の交通の要衝に置かれた城跡だ。城の設置は，薩摩平氏の一派「指宿氏」によって行われた。中世において多くの武士達がこの城を巡り戦った。写真は指揮陥から。

久保庵上の方柱板碑
松尾城城代津曲兼任により天文16年に建立。

長勝院址石造物
長勝院は宮ヶ浜にあった名刹である。現在でも多数の石造物が残る。写真は供仏銘五輪塔。

詳しくはコチラ

## 竜宮神話の玉手箱

開聞岳は元々海の神様である。海の神様の住処は「竜宮」なので，古書にこの地が，いにしえに竜宮界であったと記されているのも納得だ。また，ここには山幸彦と豊玉媛が出会った玉ノ井をはじめとした，神話にまつわる土地や伝承も山ほど残っている。

松梅蒔絵櫛筒附属品並びに目録共一合
大永３年の目録を含む化粧箱。櫛笥は玉手箱のことである。国指定重要文化財。

枚聞神社本殿
薩摩国一ノ宮。現在の社殿は，慶長15年に島津義弘が寄進し，天明７年に島津重豪が改築したもの。

天の岩屋供養塔群
「岩屋どん」とよばれる岩窟に板碑などがならぶ。大宮姫誕生の地と伝えられる。

松原田観音寺跡石塔群
大永２年建立の六地蔵塔を含む。

モクヨ六地蔵塔
天正10年建立。

瑞応院中興開山舜講の墓
応永27年に入定した舜講の墓。

枚聞神社琉球扁額7点
江戸時代，琉球使節が奉納した。

頼宋塚・九郎塚
跡目争いで亡った頼経九郎と僧頼宋の墓。

瑞応院跡
枚聞神社の別当寺跡。

入野原石塔群
室町時代の石塔群とされる。

上仙田東屋敷供養塔群
元和８年建立の六地蔵塔など。

上野神社周辺供養塔群
上野城城主上野氏の供養塔群。

詳しくはコチラ

## 神秘の湖

九州最大の湖といえば，池田湖である。謎の巨大生物「イッシー」の目撃談でも知られている。江戸時代の書にも湖に住む巨大な竜神の話が出てくるのだから，なにかがいるのは確かなようだ。まさに神秘の湖と呼ぶのにふさわしい。

池田湖
約5,700年前の噴火によってできたカルデラ湖。

猿の子踊
幼少だった今和泉島津家の初代忠郷を慰めるために踊られたのが起源とされる。

おおうなぎ群せい池
池田湖といえばおおうなぎだ。最大で体長1.8m，体重20kgにもなる。

刻地蔵
清見城の戦乱を逃れた姫が，一族の供養のために彫ったものと伝えられる。

吉永のモイヤマ
イチイガシの大木が，モイヤマとよばれる神の依代となっている。

尾下の田芋田
熱帯性のタロイモの仲間を栽培。サツマイモ伝来以前の伝統とみられている。

菅山の方柱板碑（仮屋）
天文18年建立。正面の円相に「心」と刻まれている。

詳しくはコチラ

## 斉彬の休日

幕末の名君島津斉彬は，「殿様湯」滞在中に花火の実験に失敗，建物を全焼させてしまった。休日中の名君が残したエピソードである。今でも柳田地区には斉彬が過ごした風景があちこちに残っている。殿様気分を味わっていただきたい。

殿様湯跡
島津家の温泉別荘跡。当初は，摺ヶ浜に別荘が設けられ，3回目の移転で現在地へ。島津斉彬もこの温泉で休日を過ごしたことが知られる。

湯権現
殿様湯に伴って建造された温泉の神様。

揖宿神社本殿・舞殿・勅使殿
874年の開聞岳噴火で，枚聞神社に準じて建造されたとされる。現社殿は弘化4年に建て替えられた。

島津斉彬公堀井碑新旧二基
早魃に苦しむ農民のため，島津斉彬が井戸を設けたことを記念して建立した。題字は東郷平八郎による。

弥次ヶ湯古墳
7世紀後半の開聞岳噴火で埋没した国内最南端の古墳。

揖宿神社の社叢
推定樹齢700年のクスなどの巨木からなる森。

上西園のモイドンなど民俗神
アコウの大木が，モイドンと呼ばれる神の依代になっている。

揖宿神社前田ノ神依代椋ノ木
田の神石像以前の信仰を示す。

木像阿弥陀如来立像
廃仏毀釈を逃れ保存された仏像。中世の作とされる。（写真は森瀬正之氏提供）

詳しくはコチラ

## 火山銀座探検

指宿市は，10万年ほど前に噴火した阿多カルデラという超巨大な火山の中に，ほぼ入っている。その上，池田湖・鰻池・開聞岳等の「現役」の火山も目白押し。それで火山銀座とよばれているのだ。ちょっと聞くと恐ろしいが，温泉と景色はすばらしい。

開聞岳
874年の噴火で指宿地域に大きな災害をもたらした。昔話に，すぐ怒ってケンカする山と語られている。航海の目印としての役割も担っている。

ソテツ自生地
竹山・長崎鼻などはソテツ自生地の北限として，国の天然記念物となっている。

知林ヶ島
干潮になると陸続きになり徒歩で渡れることから，縁結びの島とも言われている。

利永の力石
若者の通過儀礼だった力くらべ用の石。97.4kgもある。

鏡池
運がよければ，湖面にうつる「さかさ開聞」を見ることができる。

魚見岳
天狗が住む山との伝承もある。



縄状玄武岩
2,500年ほど前の開聞岳の噴火に伴って流れ出た溶岩。海中で急激に冷え，独特の形で固結している。

伏目海岸の池田火砕流堆積物と噴気帯
伏目海岸には，5,700年ほど前の池田湖の噴火で堆積した火砕流堆積物の崖があり，時間帯によって高温の温泉が噴き出す自噴泉が見られる。

詳しくはコチラ

「砂の道がつなぐ絆」「半島最南端を彩る海」

## まだまだあるぞ！ 指宿まるごと博物館

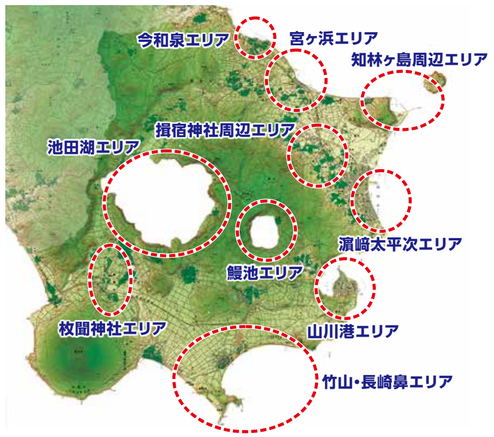
このマップで紹介した「指宿まるごと博物館」の各エリアに加え、見逃せないおすすめポイントがこちら！

**■知林ヶ島周辺エリア■**

知林ヶ島・魚見岳の大自然に触れ心も体もリフレッシュ。指宿海軍航空基地跡などの史跡や「世界のSATSUMA」と称賛される薩摩焼の美術館「薩摩伝承館」も必見です。

**■竹山・長崎鼻エリア■**

竹山・長崎鼻の景勝地をはじめ、砂むし温泉が楽しめる伏目海岸、絶景の露天風呂「たまて箱温泉」、驚きの山川地熱発電所、JR日本最南端の西大山駅など旅情あふれるエリアです。




## 「NPO法人指宿観光&体験の会」のご案内

見どころ満載の「指宿まるごと博物館」。指宿観光&体験の会が旅のご案内をさせていただきます。地元ガイドお薦めの散策コースを一緒に歩いてみませんか。

**各コースのご案内**

**■篤姫ゆかりの地散策コース**
（所要時間90分）
NHK大河ドラマで大人気の天璋院篤姫。幼少期過ごした今和泉地域周辺をガイドと共にゆっくり散策します。

**■山川港周辺散策コース**（所要時間90分）
国際貿易港として栄えた山川港。現在も鰹本枯節生産量日本一の港です。ガイドと共に歴史探訪や鰹節工場など見学します。

**■鰻温泉散策とスメ体験コース**（所要時間90分）
西郷隆盛が愛した神秘的な雰囲気漂う鰻温泉。天然蒸気を利用したカマド（スメ）でサツマイモや卵の蒸し料理を味わえます。

**■豪商濱﨑太平次ゆかりの地散策コース（所要時間90分）**
幕末の激動期に薩摩藩の斉彬や篤姫、西郷を財政的に支えた豪商濱﨑太平次。ガイドと共に世界を見た男の足跡を巡ります。

各コースの詳細、ガイド料金等につきましては、
下記までお問い合わせください。


**NPO法人 指宿観光&体験の会**
〒891-0405
鹿児島県指宿市湊1-3-2　指宿駅前ビル2階
電話0993-23-8800　FAX0993-23-8801


体験の会

# 指宿まるごと博物館 文化財マップ